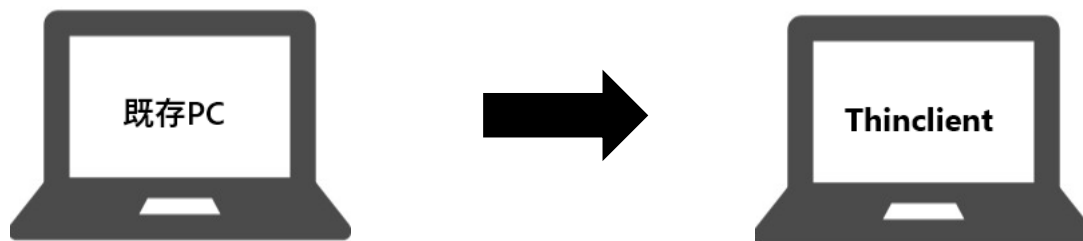


2019年1月10日

Windows 10 IoT Enterprise による「業務端末シンクライアント化サービス」を提供開始 ～リモートワーク時のトラブル発生を防止～

東京エレクトロン デバイス株式会社(横浜市神奈川区、代表取締役社長:徳重 敦之 以下、TED)は、既存の業務用パソコンを Windows 10 IoT Enterprise でシンクライアント化するサービス「業務端末シンクライアント化サービス」を 2019年1月10日より提供開始します。



<サービス提供の背景>

働き方改革によりリモートワークの実践を検討する企業が増えています。端末内にデータを残さないシンクライアント端末は、情報が漏洩しないためセキュリティ対策として有効です。このたび TED が提供する業務端末シンクライアント化サービスは、既存 PC を組み込み向け OS である Windows 10 IoT Enterprise でシンクライアント化するもので、Windows 10 の機能アップデートを適用させず OS の機能を固定したまま利用することが可能なため、リモートワーク時のバージョンアップ適用によるアプリケーション動作不能等のトラブル発生を防ぎます。

<サービス内容>

既存 PC の OS を Windows 10 IoT Enterprise に入れ替えてシンクライアント端末にカスタマイズすることで、リモートワーク時の情報漏洩対策と、OS のバージョンアップ適用によるアプリケーション動作不能等のトラブル発生の防止を実現します。HDD を SSD に変更し、メモリーの増設など既存 PC の資産をいかにしながらシンクライアント端末化します。

既存 PC で Windows 10 が動く環境であれば、導入、検証などの作業工数が削減できます。また、デスクトップ画面の変更、OS 起動直後のお客様オリジナルアプリケーションへの自動接続、セキュリティ対策としてのポリシー設定などにも対応します。OS の入れ替えやカスタマイズは、株式会社ファムの協力により実現します。

▶ 業務端末シンククライアント化サービスの特長

- 組み込み向け Windows 10 IoT Enterprise により、OS の機能を固定したままの利用が可能のため、自動機能アップデートを適用させずリモートワーク中のトラブル発生を防止
- 2020 年 1 月 14 日にサポート終了となる Windows 7 搭載 PC を本サービスでシンククライアント化することにより、OS リリースから 10 年間、更新プログラムの使用が可能
- 汎用向け Windows 10 Pro 搭載 PC から Windows 10 IoT Enterprise への移行によるセキュア端末化のためのカスタマイズにも対応

▶ 提供価格

マスター作成費用 1 マスターあたり 350,000 円 (税別) より

シンククライアント化費用 (ライセンス費込) 1 台あたり 20,000 円 (税別) より

株式会社ファムについて

株式会社ファムは、IT を通じて企業のセキュリティや利便性を高め社会貢献を目指すシンククライアント端末の製造、販売の会社です。

数台の少量から 1,000 台規模まで対応可能です。

URL : <https://nexterm.jp/>

東京エレクトロン デバイス株式会社について

東京エレクトロンデバイスは、半導体製品やビジネスソリューション等を提供する「商社ビジネス」と、お客様の設計受託や自社ブランド商品の開発を行う「開発ビジネス」を有する技術商社です。

URL : <https://www.teldevice.co.jp/>

< 本件に関する報道関係からのお問合せ先 >

東京エレクトロン デバイス株式会社 広報・IR 室 堀田・平

Tel : 045-443-4005、Fax : 045-443-4050

お問い合わせフォーム : <https://www.teldevice.co.jp/cgi-bin/form/contact.php>

< 本サービスに関するお客様からのお問合せ先 >

東京エレクトロン デバイス株式会社

クラウド IoT カンパニー エンベデッドソリューション部

Tel : 045-443-4021

お問い合わせフォーム : <https://esg.teldevice.co.jp/iot/inquiry/tc/form.html>

このニュース リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。